

モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2022年6月30日

通算 236号

三重県上野森林公園モリメイト

本気で遊ぼう！モリメイト

6月2日(木曜日) 熱中症に注意して草刈り作業開始

【参加者:池本、越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田 11名】



モリメイト花壇の草引き



花菖蒲園の周りの草引き

モリメイトフィールド内の日陰をを選んでの草刈り



6月9日(木曜日) ササユリを探しながらぶらぶら

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計11名】



去年咲いていたところの記憶をたよりにササユリを探しながら公園内を散策した。咲き終わっているものが多かったが、散策路奥のほうで淡いピンク色のササユリを数本見つけることができた。トンボ池にはハッチョウトンボのオスとメスが数匹飛び交っていた。

モリメイトフィールドの花菖蒲は今が見ごろでたくさんの方が訪れ、写真を撮る人もいた。

午後は、橋の修繕用にヒノキをチルホールを使って3本除伐。5メートルの玉切りにして皮をはいだ。芝田さんが作ってきてくれた竹のへらで少し皮を浮かせて引っ張っていくとスムーズに気持ちよくはがすことができた。



花菖蒲



この竹べら
使いやすい！



手入れのかいあって今年もきれいな花を咲かせてくれた。

6月16日(木曜日) チルホールを使っての除伐

【参加者: 梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、杉、中

8名】



先週に引き続き、橋の修繕用のヒノキを除伐。木が混みあっているために今回もチルホールを使っての伐倒である。ロープをヒノキに取り付けた後、伐倒する者は受け口を切りチルホールを巻き上げていく者とのタイミングを合わせながら追口を切り進めていった。チルホールを巻き上げる者は倒れる方向や倒れる速さをよく見ながら、伐倒方向がずれないように注意して巻き上げていった。3本とも思ったところに倒すことができた。

その後、枝葉を片付け、皮むきを行った



こんなのが
むけた!



6月23日(木曜日) 作業いろいろ

【参加者: 池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田

計12名】



マリーゴールドの切り戻し。
「花のテラス」に花がなくならないように一株おきに切っていた。



種に栄養が取られないように花菖蒲の種のついた軸の部分を取り取った。



杭にするために、細いヒノキを3本除伐し皮をはいだ。

6月30日(木曜日) 杉林の整備

【参加者: 池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中

計11名】

梅雨が明け、伊賀は最高気温 36 度の猛暑日となる予報が出ていたので、みんなて話し合い、午前中で作業を終えることにした。

水分と休憩を取りながら、木陰が多い杉林のササ刈りと木の枝の片付けを行った後、お楽しみの弁当と談笑で解散となった。

